

一般質問します！

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、
市議会議員が市に対して行う質問です。

市政を質す！
ただ



【質問者9名】質問31項目

【質問順】

- P13 石井 旭 議員
- P14 福島ヤヨヒ 議員
- P14 木村 喜一 議員
- P15 村田 春樹 議員
- 谷仲 和雄 議員
- P16 鈴木 俊一 議員
- 植木 弘子 議員
- P17 戸田 見成 議員
- 長島 幸男 議員



災害時の危機管理体制と情報収集体制を

より効果的な危機管理体制づくりを目指す

石井 旭

Q 8月25日の自然災害について
落雷・火災・停電・交通障害等
による発生件数と対応状況は

A 危機管理監 火災1件
停電約1400件、道路冠水
1ヶ所、倒木5件との報告だっ
たが、いずれも対処済である。

Q 発生予測の情報収集体制は

A 危機管理監 災害対策連
絡室を設置し、被害状況の把
握等の情報収集に努めた。

Q 停電で、市民は不安の中に
いたが、防災無線での周知状況は

A 危機管理監 市に気象警報発
表がなく、局地的大雨が短時間と
のことで周知には至らなかった。

Q 消防車が出動する中、ふれあ
いまつりでなぜ火花を打ち上げたか

A 市長公室長 関係機関
と協議し、支障を来たさな
いことを確認し実施した。

Q 安全な市民生活を回復する責任が
政にはあるが、危機管理体制に何が裏か

A 危機管理監 より効果的な
管理体制づくりを目指していく。

Q 第1回全国ヨーグルトサ
ミットin小美玉の参加状況は

A 企画財政部長 現在15市27
メーカーの参加となっている。

Q ガバメントクラウドファン
ディング寄付金1000万円の状況は

A 企画財政部長 現在は
20万円だが、サミットまで
には近づけるよう努力する。

Q 実行委員会が実施
した3500万円プロ
ポーザル方式の結果は

A 企画財政部長 実施計画
策定業務委託はプロポーザル
で6社提案、実施・運営事業
業務委託は、会則により3社
見積もり徴収をし、どちらも
(株)電通東日本と契約となった。

Q 実行委員会が再委託契約を
することは規則上、可能なのか

A 企画財政部長 特段支障はない。

Q 第2回の開催受入
自治体は決定したか

A 企画財政部長 開催受入表明
はしていないが、粘り強く交渉する。

Q 空のえき『そ・ら・ら』の
運営委員会設置がなぜ今なのか
指定管理者制度への動向は

A 産業経済部長 これまでは駅
長運営に頼っており、指定管理者制
度の導入も含め「そ・ら・ら」のあ
り方を諮問するため今回設置した。

Q 今後の拡張計画と防衛省
との協議・検討しているのか

A 産業経済部長 今回設置した運
営委員会の答申を、構想に位置づけ、
拡張等があれば、防衛省補助等を有
利に活用しながら推進していく。



すべての赤ちゃんに出産祝い金を

公平性の観点より、今後検討していく

福島 ヤヨヒ

Q 子どもを健やかに育てる施策の進捗は、親の貧困により格差はないか。ダイヤモンドシティ・プロジェクトから生まれた出産祝い金は、名のごとく全ての赤ちゃんに支給してほしい。

A 福祉部長 入学準備金は、中学ではすでに入学前に実施している。小学生も来年4月から実施予定。出産祝い金の支給については、納税者間の公平性と子育て家族への支援策の両面から検討したい。

Q 健全な暮らしの応援施策として、熱中症対策は充分か。納税に對してはきめ細やかな対応ができていくか。

A 教育部長 教室内が28度以下になるようエアコンを使用している。校外学習も適切な指導をしている。納税対応は水曜夜間や出向いての相談もしている。

Q 働き方改革に伴い、市の臨時職員も含め、職場環境の構築はできているか。障害者雇用も法に適合しているか。

A 総務部長 正規職員、臨時職員等の現況、業務内容廃止等は、H30年4月1日現在の職員数で、正規職員は493名、臨時職員、嘱託職員などの非正規職員は274名。障害者雇用については、H30年6月1日時点の実雇用率は2・8%、法定雇用率の2・5%をかるうじて上回っている。今後も法定雇用率を確保していくよう努力する。

Q 東海第二原発の再稼働反対の声を、ぜひ市長に。

A 市長 本市で、東海第二原発の廃炉を求める請願が採択され、脱原発を目指す首長会議に加盟している中で、市民、市議会、行政の意見を受け止めるとともに、東海第二発電所安全対策首長会議の一員として、構成市町村と連携を図り、判断していく。

子育て世代の市外流出抑制の住宅取得支援策を

各年代に適した施策を検討し、定住促進に努める

木村 喜一



Q 「平成の大検地」県の農地、全筆実態調査を受け、今後の対応や実施計画の詳細は。農業が持続可能な基幹産業であり続けるための創意工夫は。

A 農業委員会事務局 実態調査については、農業委員等の戸別訪問により実施。調査結果については、図面化し課題を農政課と協議しながら農地の集積・集約化に向けて利用していく計画。地域の実情を熟知する農業委員等と十分に連携し、地域ぐるみの話し合いを推進する仕組みづくりが必要と考える。

Q 農業振興地域整備計画（見直し）について、全産業が発展する整備計画を望むが、どのように考えているのか。

A 産業経済部長 現在、本市では、本計画の5年ごとの総合見直し作業を実施している。今回の総合見直しの方針は、現在の農地利用計画を維持する事を基本とし、自然的経済的社会的諸条件の変化を考慮し決定する。なお、土地利用に関する各種計画は、担当課での検討と同時に全庁的な調整会議でも検討しており、その結果も考慮する。

Q 少子高齢化が進む中、本市人口動態を踏まえ、各年代や世帯構成を考慮した流出防止の確かな定住策を。

A 企画財政部長 現在、各年代に対応した施策を推進中。本市の特徴である自衛隊員並びに家族へのアプローチなど、子育て世代のさまざまな形態分析などを通して、本市を選択してもらえぬ施策を検討・研究していく。



羽鳥駅東口の市有地利活用について

本年度中をめどに今後の方針を取りまとめる

村田 春樹

Q 羽鳥駅東口の市有地利活用は。

A 都市建設部長 昨年度のサウンディング調査の結果や民間からのヒアリングなどを踏まえて、8月30日に羽鳥駅周辺整備に関する庁内政策調整会議を開催し、今後の方針及び導入する機能等について協議した。本年度中をめどに今後の方針を取りまとめて示したい。

Q 災害時におけるペットの救護対策は。

A 危機管理監 災害発生時におけるペットの救護対策は被災者同様、スムーズな対応が求められるので、引き続き県を初めとする関係機関と連携を図りながら、よりよい方向性を見出していきたい。

Q 小美玉市でCOOL CHOICE（クールチョイス）宣言を！

A 市民生活部長

霞ヶ浦を初めとするさまざまな自然環境を次世代へ引き継ぐことができるよう、下妻市のような県内先進自治体を参考に取り組みを研究し、クールチョイスの賛同を宣言できるような実施に向けて検討していく。

Q 小美玉市内に補助犬同伴による避難が可能な福祉避難所はあるか。

A 福祉部長 社会福祉法人敬山会障害者支援施設たまりメリーホームで、補助犬同伴による避難が可能である。

***COOL CHOICE（クールチョイス）とは…**

2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていくという取組み。

各指標からみる小美玉市財政の評価は

行革を一層推進させ、コスト縮減に努める

谷仲 和雄

Q 現在進捗の各整備事業の年次計画ごとの市債発行見込額から、公債費負担比率を推計することで、財政運営の健全度を的確に把握できるものと考えている。健全化判断比率と公債費負担比率の比較・考察からみる小美玉市財政の評価について、市の所見を求めます。

A 企画財政部長 今後の市債発行見込額から公債費負担比率を推計すると数年内に15%に達することが想定される。健全化判断比率は算定上、交付税措置される額が差引かれるため健全な数値を維持できているが、公債費負担比率が高くなってきていることから予算編成は厳しくなっている。

ており、このまま繰入額が増え基金残高が減少すれば、歳入不足を補う術がなくなり、予算編成に支障をきたすため、状況が深刻化した場合は、歳出超過が生じることと想定される。

H29年度決算における健全化判断比率は何れの数値も早期健全化基準には至っていないが、公債費負担比率の上昇に示すとおり、予算編成は厳しい状況であるため、行財政改革を一層推進させ、行政コスト縮減に努めていくしかないと考えている。



▲決算認定後に公表となる決算カード（写真はH28年度版）

小美玉市の人口減少のスピードは想定内か

実際の減少率は想定より上回っている



鈴木 俊一

Q ダイヤモンドシティ・プロジェクトの原則は、具体的な数字目標を設定し、政策効果を客観的な指標によって検証し、必要な改善等を行うという結果重視がある。子育てタクシーが未実施だが。

A 福祉部長 需用があるかどうかを調査しながら進めていく。

Q 多子世帯・子育て世帯への経済的支援は。

A 福祉部長 多子世帯には1人目、2人目より多い出産祝い金を支給。対象児が3人以上は3万円、5人以上は5万円が支給される。

Q フォレストファーム事業、農家レストラン事業、6次産業化支援、水辺のイベントの活性化は。

A 企画財政部長 現在のところ未実施となっている。

Q 本市からスタートして県内周遊ツアーを10本作ることが計画されているが。

A 産業経済部長 近隣市町村との連携をとりながら、今後、ツアーを組めればと考えている。

Q 羽鳥駅及び駅前広場整備事業により乗降客数が6千人となっているが。

A 都市建設部長 H31年度の努力目標値であり、期待値も含まれている。羽鳥駅橋上駅舎が開設される予定なので、今後の推進に当たっていきたい。

Q ヨーグルトサミットの成功とは。

A 企画財政部長 シティプロモーションの一環と、ヨーグルト市場の拡大、参加自治体とメーカーの知名度アップにつながる。各々がシビックプライドを持って、今までできなかった行動を起こせたことこそが得られる効果だと考えている。

Q チャレンジ拠点整備事業、ゴールドラッシュ事業、みらいの人材育成事業、シニア層応援事業、移住・住み替えコンシェルジュ事業、空き家リポート事業は。

A 企画財政部長 現在のところ未実施となっている。

Q 企業誘致をするのかしないのか、今の予算では、はっきりしないのでは。

A 産業経済部長 予算を増やせば誘致できるわけではないと思うが、企業誘致の取組み方法を見直したい。

学校施設・通学路のブロック塀等の安全確保は

安全対策のほかに計画的な安全教育も



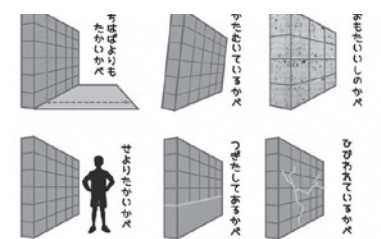
植木 弘子

Q 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保は。

A 教育部長 建設基準法に不適合な2ヶ所について、コーン設置やロープを張る等対策を講じた。今後は、安全確保のため、修繕工事など対策を早急を実施していく。また、関係機関や地域・家庭と連携し、ハード面の安全対策のほか、学校の危機管理体制の強化に努めると同時に、児童生徒に対し計画的な安全教育を実践し、危険予測・危険回避能力の向上を図っていく。

Q 市街地内の倒壊危険塀等はあるか。

A 都市建設部長 市内に設置されている塀の点検・調査を行政で行うことはかなり困難と考えるが、継続的に広く注意喚起情報の啓発活動（8月1日よりHPに掲載）や安全指導に努めていく。



▲イラストで伝える「ちかづかないほうがよいかべ」

Q ごみ袋のクラス対策について、黄色への変更に積極的な啓発・徹底を。

A 市民生活部長 黄色のゴミ袋について、被害対策のひとつとして採用する自治体がある。今後、構成4市町間で協議していきたい。マナー啓発については、更なる周知を図っていく。

【その他の質問】

○ゴミ袋の値段について、安価の実現と新施設建設に合わせ4市町間の話し合いを求めた。
○「感震ブレーカー」について、設置に向けた周知について
○市民参加型防災訓練を実施しての成果と、市職員に向けた防災訓練を求めた。



財政の健全化のため組織替えをしては

一層の行財政改革に取り組んでいく

戸田 見成

Q 企業誘致は合併以後1件もないが、今後はどうするのか。県のテクノパークに依存して当市自身の企業誘致努力を怠っているのでは。

A 産業経済部長 立地したいという問い合わせはある。これからも県と連携し、協力的体制をとっていく。

Q 企業誘致をするには執行部の組織替えが必要では。

A 市長公室長 企業誘致は市全体で取り組んでいく必要がある。現在、関係する課を集めて政策調整会議を開催している。企業が進出しやすい条件を整え、既存企業にも残ってもらえる方策が必要と考える。

Q 市長とよく相談して最善を尽くしては。

A 産業経済部長 今後は企業進出に関する諸手続関係のワンストップ化を目指し、企業の進出意欲が高まるような、さらなる誘致推進を図っていききたい。

Q 財政の課題を問う。

健全化比率は悪化していないとのことだが、詳細説明の中で「財政運営に支

障をきたすようになっていく」と矛盾しているが。

A 企画財政部長 財政健全化比率の数字からみると悪化はしていないが、予算編成においては厳しい状況にある。

Q 無駄遣いと思われるイベントがあるが、改革できるか。

A 企画財政部長 行財政改革推進プロジェクトチームを作った。一層の行財政改革に取り組むたい。

Q 人口減少に歯止めをかけ雇用を確保するため企業誘致を戦略的に取り組むとっているが、戦略的とは。

A 企画財政部長 「地方版総合戦略ダイヤモンドシテイ・プロジェクト」を基に持続可能な行財政運営を推進し、本市の特性を生かした取り組みを図っていききたい。

Q 本気で財政を良くしようと考えているのか。

A 企画財政部長 財政を良くし、収入を上げなくてはならないことは、認識している。

交通事故多発交差点に早急に信号設置を

今後も継続して問題解決に向け、取り組んでいく

長島 幸男

Q 8月、川戸の市道交差点で、大型トラックと乗用車が衝突し、母子4人死傷と痛ましい事故があった。この場所は、変則交差点で以前より事故が多く、地元から信号設置と道路改良の要望があるが、市の今後の対応は。

A 危機管理監 以前から設置要望を行っており、今回も事故直後に信号機設置要望書を石岡署に提出。可否判断は県公安委員会にて交通量、事故発生状況、道路形状・構造等について調査分析し、必要性、緊急性を考慮して設置される。当該地は、交通量、道路構造上の問題があり、設置には至っていないが、今後も警察当局との協議を続け、問題解決に向け努力していく。同時に、交通安全施設等の設置検討を図り、更に交通取締り、交通ルール無視やマナー違反による事故防止を図っていく。

○この道路は通学路となっており、路線の一部(トヨペットから山川コミュニティセンター入口まで)は、本年度から歩道整備が計画されている。本交差点についても地域住民が安全に安心できる交差点になるよう検討していただきたい。



▲交通安全を呼びかける街頭キャンペーン

【その他の質問】

○介護保険料について、介護予防について

○消防団の定員について、各分団の機庫・詰所

について、準中型免許取得の支援・助成について

○自然災害時の通報・避難対応について